

新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	ジスロマック点滴静注用 500mg	市販直後調査 平成 23 年 12 月～平成 24 年 6 月
(英名)	ZITHROMAC Intravenous use	
(規格・含有量)	1 バイアル中:有効成分日局 アジスロマイシン水和物 524.1mg(アジスロマイシンとして 500.0mg(力価))を含有	
(一般名)	点滴静注用アジスロマイシン水和物	
(メーカー名)	ファイザー	
【薬価収載日】	2011 年 9 月	
【薬価】	(1 瓶:2,496 円)	
【薬効コード】	876149	
【薬効分類名】	15 員環マクロライド系抗生物質製剤	
効能・効果	<p><適応菌種> アジスロマイシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、モラクセラ(ブランハメラ)・カタラーリス、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、レジオネラ・ニューモフィラ、クラミジア属、マイコプラズマ属</p> <p><適応症>肺炎</p>	
用法・用量	成人にはアジスロマイシンとして 500mg(力価)を 1 日 1 回、2 時間かけて点滴静注する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	<p>本剤作用増強 メシル酸ネルフィナビル</p> <p>他剤作用増強 ワルファリン、シクロスポリン、</p> <p>他剤副作用増強 ジゴキシン</p> <p>その他 テオフィリン、ミダゾラム、トリアゾラム、カルバマゼピン、フェニトイン、エルゴタミン含有製剤、他の抗菌剤</p>	
副作用	<p>重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全、急性腎不全、偽膜性大腸炎、出血性大腸炎、間質性肺炎、好酸球性肺炎、QT 延長、心室性頻脈(Torsades de pointes を含む)、白血球減少、顆粒球減少、血小板減少、横紋筋融解症</p> <p>その他 好酸球数増加、ALT(GPT)増加、下痢 など</p>	

(薬品名)	トラゼンタ錠 5mg	市販直後調査 平成 23 年 9 月～平成 24 年 3 月
(英名)	Trazenta Tablets 5mg	
(規格・含有量)	1 錠中リナグリプチン 5mg を含有	
(一般名)	リナグリプチン製剤	
(メーカー名)	日本ベーリンガーインゲルハイム	
【薬価収載日】	2011 年 9 月	
【薬価】	(1 錠:209.40 円)	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	胆汁排泄型選択的 DPP-4 阻害剤-2 型糖尿病治療剤-	
効能・効果	2 型糖尿病(ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る。)	
用法・用量	通常、成人にはリナグリプチンとして 5mg を 1 日 1 回経口投与する。	
禁忌	<p>①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>②糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者</p> <p>③重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者</p>	
相互作用	<p>本剤他剤副作用増強 糖尿病用薬(スルホニルアミド系薬剤、スルホニルウレア剤、ピグアナイド系薬剤、インスリン製剤、チアゾリジン系薬剤、α-グルコシダーゼ阻害剤、速効型インスリン分泌促進薬、ヒト GLP-1 アナログ製剤等)</p> <p>本剤作用増強 血糖降下作用を増強する薬剤(サリチル酸剤、モノアミン酸化酵素阻害剤、リトナビル等)</p> <p>本剤作用減弱 血糖降下作用を減弱する薬剤(アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、リファンピシン等)</p>	
副作用	<p>重大な副作用 低血糖症</p> <p>その他 腹部膨満、便秘、鼓腸、浮腫、体重増加など</p>	

削除医薬品通知

●2月1日

リピディルカプセル 100mg 削除

ノボラピッド 70 ミックス注フレックスペン 削除

●3月1日

ケフレックスカプセル 250mg 削除

医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
リピディル錠 80mg	リピディルカプセル 100mg

適応追加通知

エビリファイ錠 6mg

エビリファイ内用液 0.1% 6mL(6mg)

双極性障害における躁症状の改善

(錠剤) 通常、成人にはアリピプラゾールとして 12~24mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、開始用量は 24mg とし、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 30mg を超えないこと。

(内用液) 通常、成人にはアリピプラゾールとして 12~24mg(12~24mL) を 1 日 1 回経口投与する。なお、開始用量は 24mg(24mL) とし、年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 30mg(30mL) を超えないこと。

適応削除通知

医薬品	今回削除された効能・効果
ノイチーム顆粒 10%	次の疾患の腫張の緩解 歯槽膿漏症(炎症型) 小手術時の術中術後出血(歯科、泌尿器科領域)
レフトーゼシロップ 0.5%	
アクディームカプセル 90mg	
アクディーム錠 30mg	